

記者発表資料

お知らせ

一般国道203号 巖木バイパスにおけるハヤブサの確認及び 委員会の設立について

「巖木バイパス猛禽類調査保護検討委員会（仮称）」の設立について

- 本年1月及び3月に、巖木バイパスの沿線において「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種に定められているハヤブサの営巣が確認されています。
- このため、国土交通省佐賀国道事務所では、ハヤブサの保護に向けて以下のように取り組むこととしておりますのでお知らせいたします。
 - ・ ハヤブサの生息状況等の調査は「猛禽類保護の進め方」（平成8年8月 環境庁）に基づき実施中であり、今後も引き続き実施していきます。
 - ・ 「猛禽類保護の進め方」には、『猛禽類の調査や保護方策の検討にあたっては、猛禽類に詳しい専門家の指導助言を仰ぐことが肝要である』と示されていることを踏まえ、専門家からなる「巖木バイパス猛禽類調査保護検討委員会（仮称）」を設立し、ハヤブサとの共存をめざし、今後の調査の進め方、保全対策等について検討を進めていくこととしております。
- また、検討結果については、今後の委員会の審議状況を踏まえ、とりまとめ次第報告することとします。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 佐賀国道事務所

副 所 長 なか の みちお 中野 道 男 (内線 204)

建設専門官 たけした たかひろ 竹下 草 宏 (内線 521)

TEL 0952-32-1151 FAX 0952-33-2132

佐賀国道ホームページアドレス

<http://www.qsr.mlit.go.jp/sakoku/>

一般国道203号 巖木バイパスにおけるハヤブサの確認及び委員会の開催について

1. 路線の概要

佐賀唐津道路は「県内主要都市間55分圏構想」の実現を支援し、将来は西九州自動車道や有明海沿岸道路等と連結し、幹線ネットワークを形成するとともに、佐賀空港や唐津港などの広域交通拠点とも連結するなど、非常に重要な役割を備えています。

現在、佐賀唐津道路のうち直轄施行の巖木バイパス及び東多久バイパスの一部と佐賀県道路公社施工の巖木多久道路が、自動車専用道路として平成14年12月までに暫定2車線(L=10.2km)で供用しており、全線供用に向け事業進展を図っています。



2. 猛禽類調査の概要

このうち、事業中である巖木バイパス(岩屋～長部田)間において、平成17年1月から3月にかけて重要な猛禽類とされているハヤブサが確認されており、平成17年1月には成長2羽が同時に確認されるとともに、営巣に適切な岩棚も確認されています。

さらに、平成17年3月の調査では、餌の受け渡し、交尾が確認されたほか、岩棚で雌雄が入れ替わるように入出入りする様子が見られるなど、営巣していることが確認されています。

3. 委員会の開催

これらのことから、現在、ハヤブサの営巣地及び繁殖状況を把握するほか、巖木バイパスについて猛禽類の生息状況を把握するとともに、当事業の建設に伴う影響を考慮し、保全対策等を検討するため、平成17年5月26日に学識経験者で構成する「第1回 巖木バイパス猛禽類調査保護検討委員会」を開催します。

また、営巣地周辺で予定していた工事等については、今後の調査結果及び委員会の結果を踏まえて対応を検討していく予定です。

【委員会の開催について】

「第1回 巖木バイパス猛禽類調査保護検討委員会」

日 時：平成17年5月26日 15:00～17:00

場 所：佐賀市神野東2-7-2 サガシティホテル北口館2F 天山の間

備 考：公表については、頭取り可、会議非公開

- 検討結果については、今後の委員会の審議状況を踏まえ、とりまとめ次第報告することとします。

4. 今後の調査について

現在、実施中及び今後予定している調査内容は以下のとおりです。

なお、詳細については、今後予定している委員会においても検討していくこととなります。

- 1) 調査内容 ハヤブサ等の生態調査（行動圏、行動内容、繁殖状況等）
- 2) 調査期間 平成17年4月～平成18年6月までの実施を予定

(別 紙)

「厳木バイパス猛禽類調査保護検討委員会」名簿

<委 員>

委員長 あらまき 荒牧 ぐんじ 軍治 [佐賀大学 理工学部 教授]

委 員 ひがし 東 かずのり 和敬 [佐賀大学名誉教授]

委 員 もりもと 森本 みつぎ 満樹 [佐賀野鳥の会 事務局長]

委 員 くが 久我 ひろと 浩人 [佐賀野鳥の会 調査研究部長]

委 員 たんの 丹野 ゆずる 譲 [佐賀野鳥の会 副会長]

<事務局>

国土交通省 佐賀国道事務所

ハヤブサ



〔貴重度〕 国内希少種、危急種

〔形態〕

①大きさ 全長(雄)約38cm、(雌)約51cm。翼開長84～120cm。

②色 背面：主に灰褐色 腹面：白地に黒褐色の横斑。

頭部：黒色。

- ・目の下にひげ状の模様がある。
- ・翼の先が尖っている。

〔生息環境〕

- ・海岸、河岸、原野等の開けた空間に生息。
- ・主に留鳥。

〔繁殖〕 九州以北で繁殖。海岸の断崖の岩棚に営巣。